

海外交流研修に参加して

ベトナム 令和六年六月二日～六日

認定こども園岩松保育園

佐野 加奈

六月二日まだ外が薄暗い朝、宿泊ホテルを出発し、中部国際空港へ向かいました。期待と緊張を抱え、ベトナム空港に向けて飛び立ちました。上空から見たベトナムの景色は、自然の緑色とバッチャン焼きで出来た瓦屋根の朱色が美しく、目が離せませんでした。初めてベトナムに降り立った時の暑さ、香り、日本とは違う空気感はとても印象的で、今でも鮮明に覚えています。

今回の研修では、TUBAKI KINDERGARTEN と桜モンテッソーリ「子供の家」の二か所を視察させていただきました。どちらも、現地の子に混ざり日本人の子どもも通園している園でした。ベトナムの学校年度は九月から翌年の五月までなので六月から八月いっぱいまでが夏休みになります。私達が訪問した時は丁度夏休みと重なっていたので、登園している子どもの数も職員の数も通常より少ないとのことでした。

社会主義国家であるベトナムでは、規制や基準が厳しく保育の進め方が難しいようですが、教育省のガイドラインに従いながら独自の教育も取り入れているようでした。地域や園によっての教育格差がまだまだあるようですが、視察させていただいた二園では出来る

だけ良い教育をと、分刻みでの活動や課外教育なども行っていました。ベトナムの教育現場は今、日本が何十年と掛けてやってきたものを三倍くらいの速さで進んでいる為、親が経験してきていないことを子どもが経験していることも多く、親からの理解を得ることも特に大事な作業である、とのお話がありました。

園庭には、大型の遊具や固定遊具があり、広場のような場所で保育者と一緒に集団遊びを楽しむ姿が見られました。砂場は砂浜のようにな白くサラサラとした砂で、日本のように泥団子を作ったりすることはなく感触を味わうことがメインであるという事に驚きました。保育室内はコーナー分けがされていて、子どもが選んで遊べる環境となっていました。

TUBAKI KINDERGARTENでは毎日絵本を読む時間があり、日本の絵本も読まれていると聞き、親近感を感じて嬉しくなりました。日本の保育しか知らなかった私は、国によって違う教育の考え方を知り驚きの連続でした。しかし、どこの国でも子どもを大切にする気持ちや愛情、情熱を持って教育・保育に向かう姿勢は共通していると感じた時間でもありました。

園視察以外では、ホーチミン廟、分廟、一柱寺等の寺院をはじめ、ナイトマーケット、ハロン湾や鍾乳洞、ロットタワー、日本橋など、ハノイ・ダナン・ホイアンの様々な観光地へ行くことが出来ました。各所で感じるベトナムの自由な国民性や文化の違い、自然あ

ふれる場所と発展地の景色の違いなどがとても面白く、童心に帰ったように胸が躍りました。「異文化に触れるってこんなに面白いんだ!!」と感じ、自分の中の世界が広がったように思いました。

新型コロナウイルスの影響によりしばらく中止されていた海外交流研修ですが、再開されたこの年に参加させていただき、また沢山の素晴らしい経験をさせていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。この研修に参加していなければ出会う事が出来なかった先生方と出会い、色々なお話が出来た事、共にたくさん経験が出来た事、その全てが私にとってかけがえのない財産となりました。

本研修を企画、運営してくださった海外交流委員の皆様、そして、快く送り出してくれた自園の先生方に、心より感謝申し上げます。

